



つつじが丘

第93号
発行
つつじが丘コミュニティ
広報部会

災害の認識を深める防災訓練

今から100年前に関東大震災が発生した9月1日が防災の日として定められています。防災の日には『台風や高潮、津波、地震等の災害について認識を深め、それらの災害について対処する心構えを準備するため』として制定されました。

このつつじが丘地区においても、9月10日午前8時に大地震が発生したとの想定で防災訓練が行われ、参加者が各地区の一時避難場所へ避難した後、安否確認を「無事ですカードや無事ですタオル」を活用して行いました。その後、各地区で消火訓練・応急手当訓練・救命訓練・可搬ポンプでの放水訓練など様々な訓練に参加しました。

また、訓練に参加した避難者の一部は避難所となっている小学校体育館に移動して、受付や検温などの受け入れ訓練に参加した後、防災講習会に臨みました。



つつじが丘小学校の体育館では、避難所開設訓練が行われコミュニティ役員、駐在員、防災訓練実行委員をはじめ、多くの方々が協力して避難者の受け入れ準備が進められました。引き続き、一時避難場所から避難して来た避難者の受付、検温、発熱者の受け入れ訓練を実施し、その後防災講習会が行われコミュニティ会長、知多市防災危機管理課長、知多警察署警備課長の挨拶があり、その後展示コーナーでの防災用品の紹介や簡易テント、ダンボールベッドの組立、屋外ではマンホールトイレの設置などの実演が行われ、多くの参加者が興味深く見学していたり実際に参加されていました。最後に知多市消防本部消防長の講評で講習会は終了しました。

その後、つつじが丘5号公園へ移動して貯水槽に蓄えられている水の汲み出し訓練が行われました。この公園の地下に埋設されている貯水槽には飲用可能な水が約100t貯水されていて、消防署員や役員の指導のもと、手動ポンプを使用して汲み出しの実演を行い無事防災訓練は終了しました。



大盛り上がりの秋祭り

9月30日(土)・10月1日(日)の二日間コミュニティセンターで秋祭りが開催されました。

初日は朝から各町内の皆さんが神輿の組立を行い、午後からは実行委員の方々によりコミュニティセンター「くすのき広場」にて会場設営が行われました。

午後5時より秋祭りが開始され、各町内の餅つきにはつきたての餅をもらう人達で長蛇の列が出来ていました。また、宵祭り式では来賓の方々をお迎えして式典を行った後、みこし保存会の方々から振る舞い酒が振る舞われました。その後行われたビンゴゲームでは、数字が読み上げられるたび一喜一憂する声が聞こえ、ゲームが進んで行くに連れて楽しそうな声が増えていきました。

和太鼓「百`鼓」の演奏も行われ素晴らしい太鼓の音に魅了された後、恒例の抽選会が行われ、名前が読み上げられるたびに場内からは大きな歓声上がり当選された方の笑顔と共に、宵祭りは無事終了しました。



二日目は曇天から雨になるとの天気予報が出ている中、神輿の出発式が行われ舞台の前に揃った神輿と共に参加者全員で祭りの安全祈願が行われ、子ども神輿・各町内神輿・花車・コミュニティ神輿の順に各町内へと出発して行きました。

お昼前には、全ての神輿がコミュニティセンター前に集結し、2丁目の子ども台車が先に入場し続いて子ども神輿が入場し、揃ったところで子ども達への菓子撒きが行われ集まった子ども達は楽しそうに撒かれるお菓子を受け止めていました。

その後各町内の神輿が順に入場し、去年は控えていた「ワッショイ・ワッショイ」のかけ声も去年の分を取り返すべく大きな声で勢い良く入場し、最後にコミュニティ神輿がみこし保存会の皆さんによる威勢の良いかけ声と共に入場し、力強く場内を駆け回り全ての神輿が入場を完了しました。

入場後、本祭り式が行われ続いてみこし保存会による餅投げが二ヶ所に分かれて行われ、大盛り上がりの中今年の秋祭りが終了しました。

